



Kumamoto City

News Release

令和8年(2026年)5月14日

フェアトレードシティくまもと 15周年記念事業の開催について

熊本市は、2011年6月にアジア初、日本初のフェアトレードシティに認定され、今年で15周年を迎えることから、5月16日(土)に記念事業を実施しますので、下記のとおりお知らせします。

1 15周年記念シンポジウム

- (1) 時間 14:00~17:00
- (2) 場所 熊本市国際交流会館6階ホール
- (3) 構成

【第1部】キーノートスピーチ

『フェア(fairness)』って何だろう-21世紀に最も大切な言葉として-
講演:長坂寿久((一財)国際貿易投資研究所客員研究員)

【第2部】スピーチ「全国のフェアトレードの動きについて」

講演:内山大志(一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム代表理事)

【第3部】パネルセッション「熊本版ローカルフェアトレードの取組紹介」

テーマ:ローカルフェアトレード 持続可能な多文化共生農村づくり
~多文化共生農家からSDGsの食卓へ

モデレーター:申明直(NPO法人東アジア共生文化センター理事長ほか)
登壇者:(一財)熊本市国際交流振興事業団常務理事 八木浩光ほか

2 その他イベント

- (1) 時間 13:00~17:00
- (2) 場所 熊本市国際交流会館1階リンクカフェ等
- (3) 実施内容
 - ①フェアトレードショップ
 - ②エコなものづくりワークショップ
 - ③EV 車内で本市のフェアトレードの取組を紹介するとともに、地産地消ドリンクを提供

※イベントの詳細な内容やお申込方法については別紙資料をご確認ください。

【問い合わせ先】

国際課

096-328-2070

課長:安浪 真(やすなみ まこと)

フェアトレードシティ くまもと 15周年記念シンポジウム

観覧
無料

熊本市は、2011年6月にアジア初、日本初のフェアトレードシティに認定され、今年で15周年記念を迎えます。フェアトレード月間である5月に、フェアトレードの広報・啓発を行うために、15周年記念シンポジウムを開催します。本シンポジウムは、フェアトレードの推進団体および認証団体と、熊本市が一体となって企画し、フェアトレードの「過去・現在・未来」に焦点を当てた内容です。

日時 2026年5月16日(土) 14:00～17:00 **場所** 熊本市国際交流会館 6階ホール

内容 第1部：キーントスピーチ『「フェア(fairness)」って何だろうー21世紀に最も大切な言葉としてー』講演：長坂寿久
第2部：スピーチ「全国のフェアトレードの動きについて」講演：内山大志
第3部：パネルセッション「熊本版ローカルフェアトレードの取組紹介」モデレーター：申明直



◀お申し込みはコチラから

シンポジウム会場で、フェアトレードのコーヒー、紅茶、クッキーなどをご試食いただけます。

※フェアトレードに関するノベルティもプレゼント!!



フェアトレードショップ

日時 2026年5月16日(土) 13:00～17:00

場所 熊本市国際交流会館 1階リンクカフェ

フェアトレードに関するグッズや商品を紹介！
その場で購入可能。



トヨタの次世代モビリティ 「e-Palette」がやってくる!

日時 2026年5月16日(土) 13:00～17:00

場所 熊本市国際交流会館 正面

モビリティ社会の実現に向けて、マルチな使い方を通じ新たな移動体験を提供するバッテリーEV「e-Palette」がやってきます。車内では、熊本市のフェアトレードの取組の一部を紹介します。



先着
100名
限定



アンケートにお答えいただくとともに、阿蘇産のいちごを使った255CAFEの「いちごドリンク」をプレゼント!

参加
無料

エコなものづくり ワークショップ

【ディンプルアートワークショップ】

随時受付：30名限定

講師 虹色アトリエパーチ 小山由貴

日時 2026年5月16日(土) 13:00～17:00

場所 熊本市国際交流会館 1階リンクカフェ

申込 予約不要 当日会場へお越しください

車のフロントガラスの廃材で作られた超透明絵の具を使って、エコなお絵描き体験しませんか？
下絵に合わせて塗っていくだけなので、気軽にお越しください。
キーホルダーがフォトフレームをお作り頂けます。

※アルコール成分が含まれていますので、アレルギーをお持ちの方はご注意ください。
※お子様は、保護者同伴をお願いします。



フェアトレードシティくまもと 15周年記念シンポジウム



日時 2026年5月16日(土) 14:00～17:00

場所 熊本市国際交流会館6階ホール

観覧
無料

第1部

キーノートスピーチ「『フェア(fairness)』って何だろうー21世紀に最も大切な言葉としてー」
講演：長坂寿久（(一財)国際貿易投資研究所 (ITI) 客員研究員等）

第2部

スピーチ「全国のフェアトレードの動きについて」
講演：内山大志（一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム代表理事）

第3部

パネルセッション「熊本版ローカルフェアトレードの取組紹介」
テーマ：ローカルフェアトレード 持続可能な多文化共生農村づくり
～多文化共生農家から SDGs の食卓へ (M2T=Multicultural Farms to SDGs Tables)

モデレーター：申明直

(NPO 法人東アジア共生文化センター理事長兼フェアトレードシティくまもと協議会ローカルフェアトレード部会長)

登壇者：(一財) 熊本市国際交流振興事業団常務理事 八木 浩光

一般社団法人熊本県農業法人協会 副会長 光永 カオリ (株)みっちゃん工房代表取締役社長

Kumamoto Kurasu 事務局長 ヨハネス・ヴィルヘルム

桜十字グループ人材開発本部 本部長 上村啓輔



フェアトレードとは…？

フェアトレードとは、直訳すると「公平・公正な貿易」。

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、
立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。

フェアトレードタウン(シティ)とは…？

まち全体でフェアトレードを応援する市町村であることを認定機関から認められた都市のことです。

2000年に世界で初めて英国ガースタングがフェアトレードタウンとして誕生してから、

世界ではすでに30か国2000以上の都市が認定されており、ロンドンやパリ、ローマといった首都も含まれています。

国内では、熊本市(熊本県)、名古屋市(愛知県)、逗子市(神奈川県)、浜松市(静岡県)、札幌市(北海道)、
いなべ市(三重県)、鎌倉市(神奈川県)、大府市(愛知県)の8都市が認定されています。

熊本市は、2011年に日本の自治体としてはもちろん、アジアでも「初めて」、世界で「1000番目」に認定されました。

